



わたしたちが運ぶのは未来です

 **運輸省**



# みなと しみず

**発行所**

第五港湾建設局  
清水港工事事務所  
御前崎港事務所  
下田港事務所



## 情報誌「エキゾチックベイズ」発行

ベイズシリーズ日本港湾協会企画賞受賞

清水港工事事務所は、この度清水港情報誌の第三弾「エキゾチックベイズ」を発行しました。

この情報誌は、市民と港の係わりについて、市民生活と身近な部分で港の存在を再認識してもらうことがねらいで、平成4年度からシリーズで「清水港とその周辺の港湾に係る文化を発掘し、活用する調査」を実施してその成果を小冊子にまとめたものです。

この小冊子の当初は、清水港とその周辺のイベント・レジャー・観光・祭り・歴史等を紹介した情報誌「ベイズ」として、また翌年には港と夜景・夜景と観光をテーマに情報誌「ナイトビューベイズ」として発行したもので、報道機関を通じて紹介したところ一般市民からの希望も数多く寄せられ両誌とも予想を上回る評価をいただくことができました。

今回発行した「エキゾチックベイズ」は、「港と外国」をキーワードとして清水港と外国との交流の歴史と、そこから生まれた港町の文化を中心に、これまでのベイズシリーズと同様にイラストや美しい

写真を中心にまとめたもので、引き続き多くの皆様のお目にとめていただくことを期待しております。

さて、このベイズシリーズは、この度「この地域が港とともに発展してきた歴史と、その積み重ねによってできた現在の姿を分かりやすく表現したことにより、市民各層に港の重要性を認識してもらうことができた。」として、社団法人日本港湾協会から「港湾に関する著作等とその企画、表現等が特にすぐれているもの。」に与えられる企画賞を平成7年5月24日の総会においていただくことができました。

これもベイズシリーズの発行等に際し、ご指導、ご協力をいただいた各位のご尽力の賜物と、厚くお礼申し上げます。

今後とも職員一同、地域発展のために少しでもお役にたちますよう頑張っていくしますので、なお一層のご指導、ご助言をお願い致します。

ベイズシリーズのお問い合わせは、当事務所庶務課まで。  
電話

(0543) 52-4146



静岡県の港シリーズ(14)  
下田港

▼下田市

下田市は伊豆半島の南東部に位置し、東西13km、南北16km、面積104.6km<sup>2</sup>である。

昭和30年に下田、稲梓、稲生沢、白浜、浜崎、朝日の6町村の合併により下田町となり、昭和46年に下田市となる。

下田市は南伊豆地域において唯一市制を施行しており、商業施設が集積、集中し、国、県の出先行政機関も集中立地している。又、南伊豆地域を結ぶほとんどの道路や各種の交通機関の基点となっている。特に、自然に恵まれ、幕末の重要な舞台となり、その史跡も数多く残っており、伊豆半島における観光レクリエーションの拠点としての役割を果たしている。

▼沿革

下田港は伊豆半島の南東部に位置し、東に相模灘、西に遠州灘を控え、古くから船舶の避難場所として利用されてきた。

江戸時代には上方と江戸を結ぶ海路の中間港として賑わいを見せていた。寛永13年に「御番所」が設けられ、下田港は「出船入船3千艘」といわれるほど繁昌した。

安政元年ペリーが下田港に

入港し、幕府は日米和親条約(下田条約)を結び、函館と共に下田港を開港したことに伴い、外交上、政治上、貿易上の活況を呈した。

入港し、幕府は日米和親条約(下田条約)を結び、函館と共に下田港を開港したことに伴い、外交上、政治上、貿易上の活況を呈した。

明治維新後は、開港閉鎖により低迷を続けた。昭和に入り、大島ー下田間の定期観光航路が開設され、又、下田港修築事業により、鶴島防波堤、鶴島岸壁(4m)、内港物揚場(3m)が築造された。昭和26年に避難港の指定を受け、港湾整備事業(避難港)として鶴島防波堤、東防波堤が築造された。

現在下田港は、伊豆諸島近海を中心とする漁業の基地として、又、観光レクリエーションの基地として発展しつつある。



近年、周辺海域を航行する船舶の増大、大型化による避難船の収容能力の不足、さらには、下田市は古来より、地震による津波災害をたびたび

タウンゼント、ハリスが海岸を散策したハリスの小径等、気軽に楽しめるコースが種々ある。(W・F窓口)

◆清水の史跡⑥◆

☆甲州回米置場跡の碑☆

甲州回米置場跡の碑は、清水港工事事務所から約500m離れた巴川にかかる港橋のバス停横小公園内にあります。



江戸時代、甲州から幕府へ納められる年貢米は、富士川を舟で下って「回米置場」に一旦集められ、大回船で江戸へ送られていきました。

延宝4年(一六七六)には甲府宰相徳川綱重の回米置場が向島のJ.R鉄橋下流辺りにあり、さらに宝永4年(一七〇七)には、甲府15万石の大名家柳沢吉保の回米置場が水神社北の万世町にもうけられました。

御前崎港  
事務所だより

◎新観光拠点

『なぶら館』誕生

4月1日御前崎町観光物産会館「なぶら館」がオープンしました。

同会館は、御前崎の新しい観光・情報の発信・商工振興の拠点としてマリンパーク御前崎造成地西側に建設されました。建物は、鉄筋コンクリート造り2階一部4階建てで、荒波を乗り切る「おまえざき丸」をデザインしたものです。展示施設には、40インチの





九面マルチビジョンがあり、町の四季・産業・文化・マリンスポーツなどを紹介した映像ソフトが放映されます。また希望するレーザーディスクを選択できる装置や、御前崎とその周辺の観光情報(宿泊・グルメ・イベント等)を自由にしたりプリントできる情報検索装置なども設けられています。

展示施設の呼び物は、国の天然記念物に指定されている御前崎のアカウミガメコーナーで、模型と立体映像装置を組み合わせたディスプレイにより、産卵からふ化までの様子が見学できます。

その他にも御前崎の名産品や漁具などが展示されており、4階には展望室が設けられています。

入館は無料で、開館時間は通常が午前8時～午後5時(祝日を除く水・木休館、7月20日～8月末日までは午後6時までで無休)です。

(長澤隆夫)

総ポディーボード

世界大会開催

第1回スバルポディーボードチャンピオンシップが、5月6日、7日に御前崎ロングビーチで開催されました。ポディーボードとは、サーフィンより3分の1ぐらい短

く、両端も尖っていないくて、素材も柔らかく軽いものです。ですから、怪我の心配も少なくて済みます。遊び方は、サーフィンと同じく波乗りをするのですが、短い分色々な技が出来ます。これは、上達に時間が掛からないと思えますので、女性の方にも楽しんでもらえるのではないかと思います。



この大会は、日本で初めてのGOB(世界ポディーボード連盟)公認の世界大会で、95年シーズンのツアー第2戦目にあたります。なにしろGOBツアーといえば、世界のトッププロボーダーたちが鏑を削るハイレベルなツアー。

私もこの大会を見に行きまして、とてもきれいなお姉さん方が(目的が違う)もとい、ポディーボーダーたちが、波の上で平面的にくるくる回るスピンをいとも簡単に何回も連続でやっちゃいます

し、波の面に添ってクルリと宙返り、空中高く舞い上がったりして、どれをとっても歓声の連続でした。という事で、今年の夏はポディーボードで決まり!

(櫻井日出伸)

下田港 事務所だより

第56回

黒船祭開催される

去る5月16、18日にわたり、第56回黒船祭が行われた。

15日には前夜祭として、ミスコンが行われ、筆者は見に行きたかったが遠慮した。

16・17日には、下田商店街の会場で各種イベントが催された。町のメインロードのマイマイ通りではステージを設け、歌あり芝居あり笑いありだった。笑いはいまいちであった。

なお下田港沖には、米軍派遣艦エリオット号(800t)や、自衛隊護衛艦二艘停泊していた。そのため町には外人さんであふれていた。

その夜、下田港において天候で危ぶまれていた海上花火大会が行われ、新作も登場して、黒船祭をいっそう盛り上げた。二年ぶりに花火を見て感動し、涙する筆者であった。(うそついていません)

17日には下田公園において記念式典が行われた。開催にあたり、航空自衛隊による祝賀飛行があった。式典では、日米両国20名の方によって献花が行われた。



式典が終わると、参加者の方がオープンカーなどに乗って、下田商店街をパレードした。筆者も愛車で最後尾につけたかったが、品を疑われるので今回は断念した。

夕方に商店街において、抽選会があったが、職員全員はずれ、海外旅行・ステキー・伊勢エビは夢となった。

18日には日米親善スポーツ大会が行われ、親睦を深め、第56回黒船祭は幕を閉じた。

春の叙勲

元当所職員受賞

水谷正澄氏(65)は、永年

に亘り清水港の港湾工事に尽力された功績により、平成7年春の叙勲において、勲六等瑞宝賞を受賞されました。



転入者紹介

補償調整官 山口政明

本局から転勤して来ました山口です。清水港勤務は初めてで、まだ当地域のことはよく理解できておりませんが、一日も早く皆様方の中にとけこみ、少しでも地域のお役に立てばの気持ちで頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

庶務課 庶務係長 岩田真人  
本局経理課補助金係から参りました。

名古屋↓東京↓下関↓名古屋と勤務してきましたが、これで第四の故郷ができるというわけです。

清水は、やはり魚の旨さが格別感じられます。官舎から富士を眺めつつ新鮮な刺身で晩酌ができるというのは、最高です。

伝統ある清水港工事事務所の庶務係には力不足ではありますが、よろしくお願ひしま



す。

第二工事課長 谷口義憲

このたび本局設計室より清水港工事事務所に転勤となりました。

当事務所での勤務は初めてであり、過去にも2回程度ぐらいしか出張等でお伺いした記憶がなく、清水市そのものが未知の世界でもあり、また新鮮にも思われます。

清水は気候も良く(4月に来てから雨ばかり)魚も新鮮で、風光明媚な所であり、快適な生活がおくれそうです。仕事の面につきましては心機一転頑張つてやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

工事係長 近藤達男  
本局企画課より転勤してまいりました。

広報担当の方から「みなとしみず」のメンバー紹介を書いて下さいと言われ、仕事の抱負、清水にきた感想、遊びの予定など、何を書いたらよいかと思ひ悩んでいた所、ふと我に返つてみると、予定の字数に近づき最後に一言、

色々とお迷惑おかけする事もあるかと思いますが、今後とも清水港工事事務所ともどもよろしくお願い致します。

管内唯一の空港、名古屋空

港からの転勤となりました。

朝昼晩と規則正しいたっぷりの食事、新築の寮、土地柄である穏やかな人間関係の町は夜間工事のため昼夜逆転だった生活を、通常のリズムに戻すのには最適です。

また、ここ清水は私の生まれ育つた町であるわけですが10年ぶりに戻り、生活のしやすさ、人柄の良さ、富士山の美しさ、食べ物の旨さ等にはじめて感激している毎日です。

工事課第二工事係 太田守彦  
「はい、みなさんこんにちは太田守彦です。あっ失礼、右に大きく書いてあった。(笑)」さて、4月3日に社会生活の初舞台である、辞令交付を受けて希望満タンで清水にやってきた訳です。しかし、寮に着いた僕に、不安は突然襲いかかった。何とか閉まっていたのだ!!うお!!初日から閉め出しかい!!

翌朝、時計のベルで7時に起きると旅館の一室のような風景が広がる。思わず朝日に向かって「ガンバルゾ」とダニエル君になってしまった4月4日の朝でした。」

「ダニエル君って誰?」

第一工事課長 小倉好数  
清水港工事事務所は19年ぶり2度目の勤務となります。三保の勤務場所も駒越の宿

舎も同じ場所となりましたが、耐震に配慮し、富士山を望むことが出来る新築宿舎に入れたことに幸運を感じています。工事等の監督業務を担当します。安全を第一に、そして品質・出来栄の良い工事実施に努力する所存です。よろしくお願い致します。

第一工事係長 宮崎正治  
4月より清水港工事事務所第一工事課の勤務となりました。

清水港の勤務は7年振りです。2回目ということになります。清水の町も日の出地区の再開発やエスパルス通りの新設等その様変りに驚かされるものがあります。

今回は現場担当でありはじめての経験ですが、初心に戻り頑張りますのでよろしくお願致します。

御監務係 浅倉弘敏  
名古屋から新幹線に乗って1時間。いよいよ御前崎にやってきました。と、おもいきやこの掛川からまだ1時間半以上もかかるのだ。まだ半分も来ていない。遠いナ。しかし、いまさらとやかく言ってもしょうがない。住めば都!

清水港工事事務所勤務は6年振り2回目。今度は初めての現場勤務。一から勉強。がんばりますのでよろしくお願致します。

下田港事務所長 大草光男  
本局工務課より3年振り4回目の配置換となり初の下田港勤務となりました。当地は自然に恵まれ、空気も良く毎日の徒歩での通勤も快適で2度目の单身生活を楽しむ今日この頃です。今年から始まる新型ケーソンの製作を通して地元の方々への事業のPRを行いながら地元要請の把握に努め適切に処理するよう努力しますのでよろしく御支援方お願い致します。

工事課長 安田幸博  
今年度より全国初の双胴型ケーソンの製作に入ります。設計室では下田港を担当しておりますので、是非、第一函目の製作・据付を無事完了させたいと思っています。私生活では、初めての单身赴任となりますが、下田の生活を十分楽しむつもりです。

工事係 横山裕司  
今の私は肝臓が危ない。海のない所で育つた田舎者の私は就職するに当たり運輸省(港研・横須賀市)を選んだ。そこで仕事よりもマリンスポーツを楽しんだ(本人はそう思っている)のち下田へ来た。マリンスポーツのあとは車で楽しもうと思っていたが、下田の道路状況ではそうもいかな

いらしい。心なしか愛車の色がサビ色にみえてくるのは気のせいか。こうなったら酒でも飲んで気をまぎらわそう。ちきしょう!

やっぱり肝臓が危ない。下田港事務所長、工事課長はこよなく酒を愛すると聞いた。絶対に肝臓が危ない。

管内の動き

発行所  
清水港工事事務所  
〒424 静岡県清水市日の出町七一二  
TEL (〇五四三) 五二一四一四六(代)

5月	24日	日本港湾協会総会で情報誌「ベイズ」企画受賞
	30日	清水経済人クラブで所長講演
6月	1日	運輸省設置記念日
	6日	清水港湾連絡協議会定例会で所長講演
	7日	御前崎港整備連絡調整会議
	15日	静岡県防災会議(静岡)
7月	6日	清水港みなと色彩計画推進協議会及びアドバイザー会議
	7日	運輸省労働省静岡地方機関連絡会議(清水)
	16日	清水みなとまつり
	20日	海の記念日式典・訪船